



SMART HOME (スマートホーム)

すべての家がスマートホーム化するのはいつ?

スマートTVは最も一般的なスマートホーム関連機器

2016年のヨーロッパにおける販売金額¹は1738万ドル。

2011年から561万ドル増加。



2016年の**中南米**における販売金額²は648万ドル。

2011年から104万ドル増加。

2016年の**中東**および**アフリカ**における販売金額³は278万ドル。2011年から35万ドル増加。



スマートホームの導入によって消費者の生活がどのように変わるのかというメリットを**明確に伝えることが重要**

スマートホームの導入が進むミレニアル世代

ミレニアル世代の**36%**⁴はスマートフォンやタブレット、パソコンでスマートホーム関連機器をモニタリング、コントロールしている

スマートホームの魅力とは?⁵

ベビーブーム世代



61%

“光熱費を削減し、節約できるから”

ジエネレーションX



52%

“家の安全・安心を守ることができるから”

ミレニアル世代



39%

“カッコいい、流行のテクノロジーだから”

ミレニアル世代が家でスマートホーム関連機器を使用する3つの理由⁶



39%

“カッコいい、流行のテクノロジーだから”



38%

“最新のテクノロジーで自宅をアップデートしたいから”



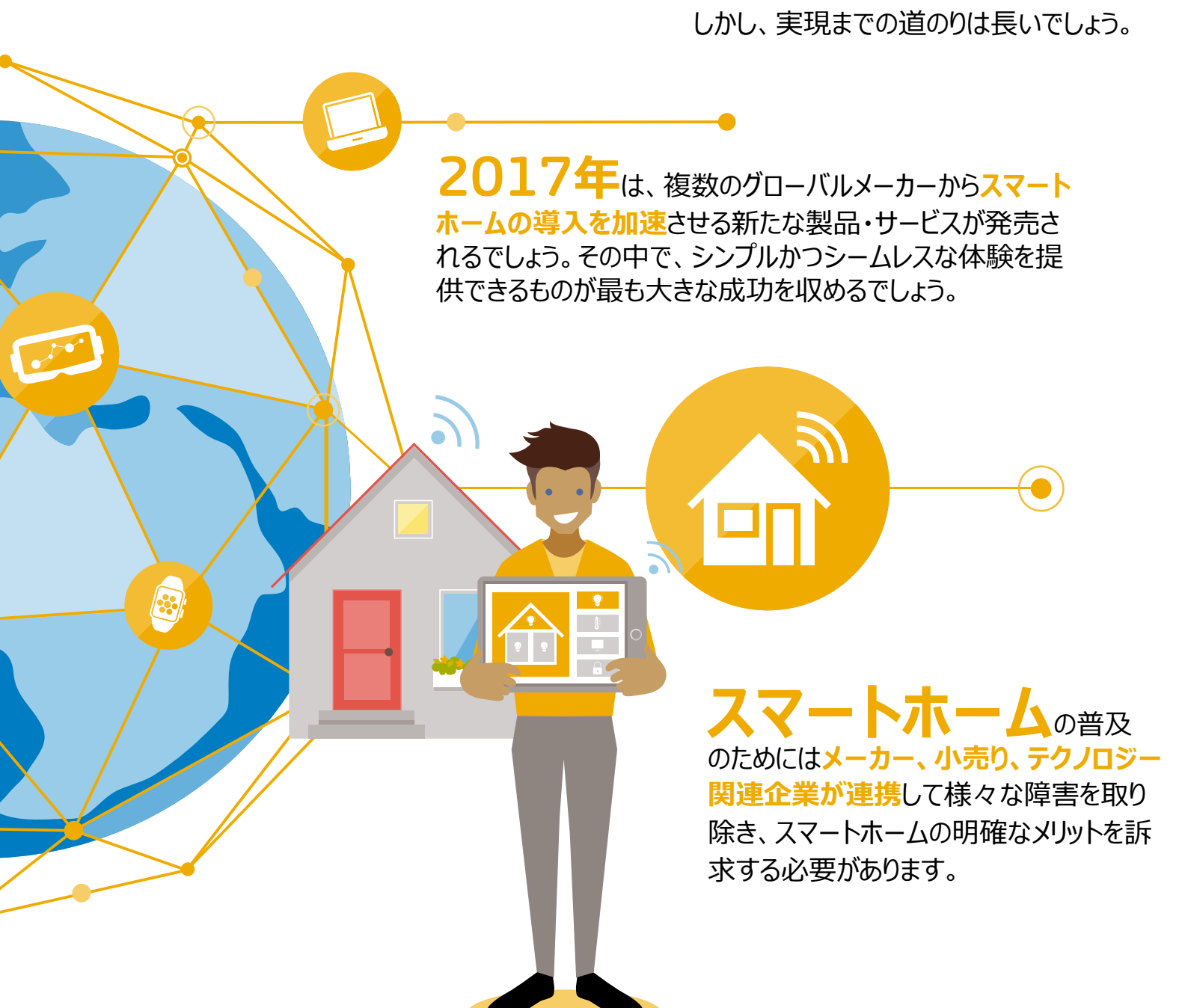
38%

“環境に配慮し、資源を効率的に使用できるから”

GfKのスマートホームエキスパートの視点：

すべての機器が完全につながっているスマートホームのイメージが先行しています。

しかし、実現までの道のりは長いでしょう。



2017年は、複数のグローバルメーカーからスマートホームの導入を加速させる新たな製品・サービスが発売されるでしょう。その中で、シンプルかつシームレスな体験を提供できるものが最も大きな成功を収めるでしょう。

スマートホームの普及のためにはメーカー、小売り、テクノロジー関連企業が連携して様々な障害を取り除き、スマートホームの明確なメリットを訴求する必要があります。